

## ご存知ですか？「開成町人づくり憲章」

開成町では、豊かな自然の中で、健康で潤いに満ちた幸福な生涯を送ることのできる社会を実現するために、「開物成務」の精神にのっとり、人づくりを行うことを決意して、「開成町人づくり憲章」を定めました。

※「開物成務」という言葉は、中国の易経にある「学問、知識を開発し、世のために務めを成す」という考え方です。

## 開成町人づくり憲章

### 一 開物成務の精神にのっとり、自ら考え行動し、

#### 成すべきことをやり遂げる人づくりを行います

幼児期の段階から規範意識や公共の精神を養い、豊かな心と健やかな体を作り、困難な課題に突き当たっても、最後まであきらめず、自らの力で課題を解決する力、いわゆる「生きる力」を養うことが必要である。

### 一 開成町民は一人ひとりが責任を持ち、力を合わせて人づくりを行います

「人づくり」は家庭が原点であり、学校が学習の拠点である。「家庭で種をまき、学校で花が育ち、社会で実が育つ」といわれるように、学校や先生まかせにするのではなく、町民一人ひとりが自分のでき得る範囲の中で人づくりに積極的に参画し、各自の役割を果たしていかなければならない。

### 一 かけがいのない命を尊び、家族や友達、

#### 地域の人々とともに助けあい支えあう人づくりを行います

様々な世代の町民がお互いを尊重し、助け合い、支えあう人づくりやいじめや暴力行為、差別などの反社会的行為を絶対許さない強い道徳心と行動力を持つ人づくりに取り組む



### 一 歴史に学び、自然や伝統文化を愛し守り伝える人づくりを行います

今日の繁栄をもたらしてくれた先人たちの努力に感謝し、再び悲惨な災害が起こることのないよう、開成町民はこれらの歴史を後世に伝承し、開成町を発展させていくための人づくりをすすめる。（開成町は、富士山の噴火による酒匂川の氾濫など、悲惨な過去があった）

### 一 開物成務の精神にのっとり、まちづくりに自ら進んで参画し、

#### 社会に尽くす人づくりを行います

「まちづくりは人づくりから」であり、お互いの自主性を尊重しながら協働して住みよいまちづくりを進めるためには、開成町の将来を担うボランティア精神に富んだ人づくりに取り組む必要がある。

この憲章は町全体で子どもたちを育てていくための基本、大人が育っていくための基本としての考え方がまとめられています。学校においても学校教育目標を設定する上での大切な考え方となっています。

現在、開成町の町立学校 3 校がコミュニティ・スクールに指定されています。町民の皆様にはこれらコミュニティ・スクールを「地域の拠点」「地域の学校」「皆様が支援する学校」にしてください。ご協力いただくことで「開成町人づくり憲章」の考え方がさらに浸透していくと思われま



## 開成小学校で元学校林のヒノキの皮むき活動

12月19日（水）放課後、平成25年度の開成小学校大規模改修工事で使用する元学校林のヒノキの皮むきが、希望する児童（放課後子ども教室参加児童を含め）により体育館のピロティーで行われました。この元学校林は南足柄市広町にあり、ヒノキは来年度改修工事で使用を計画している化粧柱やベンチにするために切り出されたものです。

普段は経験したことのない太い木の皮むきですので、材木店さんの説明を受けても、実際に作業を進めてみるとむずかしかったようです。それでも、軍手にドライバーやヘラを持って一生懸命に作業を進めていました。

71名の児童をはじめPTA、放課後子ども教室スタッフ、学校職員がともにがんばりました。来年度の工事で、すばらしい化粧柱やベンチに仕上がることを期待したいと思います。



## 地域との連携による授業《開成南小学校 学校だより「みなみの風」より》

地域に目を向ける—2年生生活科—

ある日、2年生の教室方向から、にぎやかな話し声が聞こえてきました。その声に誘われるように、教室に行きました。すると、オープンスペースの床に、いくつも子ども達の輪ができていました。各教室にも同様に、輪ができていました。

よく見ると、名札のクラス名がまちまちでした。ある輪の子ども達に、「何を相談しているんですか。」と問いかけてみました。子ども達からは、「あのね、〇〇を見に行くから、何を見て、何を聞いてくるか決めているの。」という返事でした。



担任に聞くと、「学区内にある商店や事業所等のうち、行きたいところに分かれ、同じ場所に行きたい人たちで一つのグループを作っている。2年生全体の活動なのです。」とのことでした。

先月には、1年生が生活科で、ある企業の敷地内でドングリ拾いをしました。5年生は、社会科の工業単元の学習で、町内の企業に見学に行きました。鉄道クラブでは、駅の見学も行いました。

このように、本校では教科学習や特別活動等で、地域の皆様や商店、事業所等到大変お世話になっています。また、校外学習の行き帰りの安全や、ミシン使用等の授業の安全を守るために、学校運営協議会を通して学習支援ボランティアさんのご協力も得ています。本当にありがたいことです。

それにしても、2年生の相談する姿は、たいしたものでした。というのも、学級の枠をこえて一つのグループを作っているのですから、上手な相談は難しいのではないかと考えていました。しかし、それは杞憂に終わりました。次々に良い考えが出され、意見交換をしていました。そして、「あっ、それいいねえ。」などと賛同したり、「それは、ちょっと・・・」と反対したり、時には先生の支援を受けたりしながら、グループ内で意見集約をしていました。

この「みなみの風」のように子どもたちは、地域の皆様からいろいろな形でご支援をいただいています。コミュニティ・スクールに指定されている学校では、ご支援をいただいている皆様にもいつも感謝の気持ちをいただきながら子どもたちの指導を重ねています。今後とも学校教育に皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

（※教育委員会によって学校運営協議会の設置許可が出ている学校をコミュニティ・スクールといいます。学校運営協議会は、開成南小学校のように地域との連携ためのコーディネーター役を推進します。）